

# 令和2年度 府民参加型公共事業委員会

---

令和2年8月4日(火)



京都府建設交通部指導検査課  
京都府警察本部交通規制課

# 次 第

## <第1部>

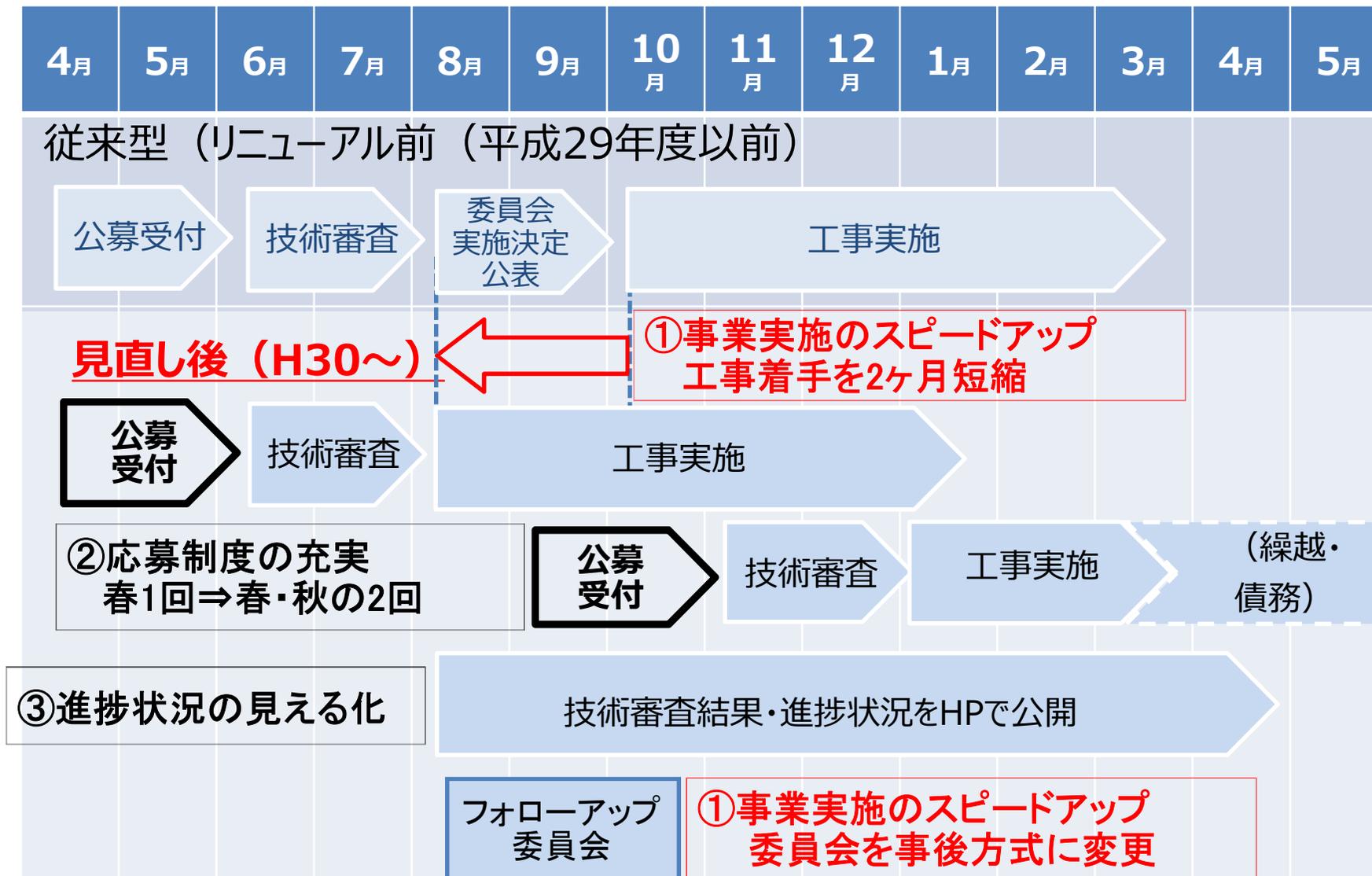
### (1) 府民協働型インフラ保全事業について

- ① 事業制度について
- ② 令和元年度事業の概要について
- ③ アンケート調査について
- ④ 京都府議会質疑状況について
- ⑤ 制度改善について
- ⑥ 質疑応答・意見交換
- ⑦ その他

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ①事業制度について

## 執行スケジュール(平年ベース)



次年度以降における事業の改善検討に活用

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ① 事業制度について

	対象工事	運用
リニューアル ③〇 〽	<p>【安心・安全整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 側溝整備による歩行空間確保</li> <li>二 歩道の段差解消</li> <li>三 ガードレールや転落防止柵の設置</li> <li>四 河川浚渫</li> <li>五 立木伐採</li> <li>六 信号機の改良、横断歩道の設置など</li> </ul> <p>※ 用地買収を伴う提案は不可</p> <p>【インフラ長寿命化対策】 追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 舗装補修</li> <li>二 河川護岸等の修繕</li> <li>三 道路法面等の修繕</li> <li>四 標識等の支柱部の腐食補修など</li> </ul>	<p>① 募集は春(4~5月)・秋(9~10月)の2回</p> <p>※ H30は 2次募集は、安心・安全整備(河川護岸や道路法面等の修繕、河川浚渫)に限定して募集したが、<u>R1の2次募集は、インフラ長寿命化対策も募集</u></p> <p>※ R1は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次募集:4~5月で年度内に完成できる工事等を採用</li> <li>・ 2次募集:9~10月で次期出水期までに対策が必要な工事等を優先して採用</li> </ul> <p>※ R2は <u>コロナ禍の影響を考慮し、2次募集開始を1か月前倒しし、募集期間を3ヶ月(8~10月)に拡大。早期の広報を実施(6月30日記者発表)</u></p> <p>② 提案フォームはチェック式の導入等により、簡素化</p> <p>※ R2は <u>安心・安全整備、インフラ長寿命化対策で様式を分けていたが、分類が分かりにくいとの意見があったため、様式を統一</u></p> <p>③ <u>委員会の審査は省略し、事務所の技術審査をもって実施決定。完成後にフォローアップ委員会を開催(R1.8.8)</u> ⇒ 工事着手までの期間を<u>2ヶ月短縮</u></p> <p>① 審査結果に加え、「設計中」「入札手続中」「工事中」「完成」などの<u>進捗状況もHP公表</u></p> <p>※ R2は <u>応募要領に公表時期を明記</u></p>

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ② 令和元年度事業の概要について

○提案総数:1,658件 採択総数:1,100件(経過観察16件)

	提案	採択	保留	経過観察	追加採択
1次募集	1,104	669	0	9	↓
2次募集	554	431		7	0
合計	1,658	①1,100	0	16	② 0
		①+②=			<b>1,100</b>

### 令和元年度予算 32億円

※滋賀県大津市で保育園児等が巻き込まれる痛ましい交通事故が発生したことを踏まえ、府内の保育園児や幼稚園児などを交通事故から守るため、緊急安全確保対策を実施 13箇所

### 【参考】

令和2年度当初予算 29億円

※昨年度から3億円の減額となっているが、今年度、新たに創設された緊急浚渫推進事業で9億円予算措置されており、浚渫提案のうち本事業の要件に合致するものは、本事業で優先実施

## 提案/採択※1状況一覧

### ○地域別一覧表

地域	1次募集 4/1～5/31				2次募集 9/2～10/31			経過観察 ※3 追加採択
	提案	採択	保留 ※2	経過観察 ※3	提案	採択	経過観察 ※3	
京都市域	45	26	0	0	48	30	0	0
山城局	106	84	0	0	115	93	0	0
乙訓	36	29	0	0	13	12	0	0
山城北	37	27	0	0	41	29	0	0
山城南	33	28	0	0	61	52	0	0
南丹局	188	113	0	0	75	69	0	0
中丹局	174	128	0	0	160	132	1	0
中丹東	81	58	0	0	74	60	1	0
中丹西	93	70	0	0	86	72	0	0
丹後局	236	144	0	8	148	100	6	0
港湾局	40	33	0	1	7	7	0	0
小計	789	<b>528</b>	0	9	553	<b>431</b>	<b>7</b>	<b>0</b>
警察	312	141						
その他	3	0			1	0		
合計	1,104	<b>669</b>	0	9	554	<b>431</b>	<b>7</b>	<b>0</b>

※1 採択件数に「他事業で実施するもの」「経過観察を行うもの」は含まない。

※2 安心・安全整備に係る提案のうち、予算制約上で採択を保留したものは、2次募集と合わせて技術審査等を行い採択を決定する。

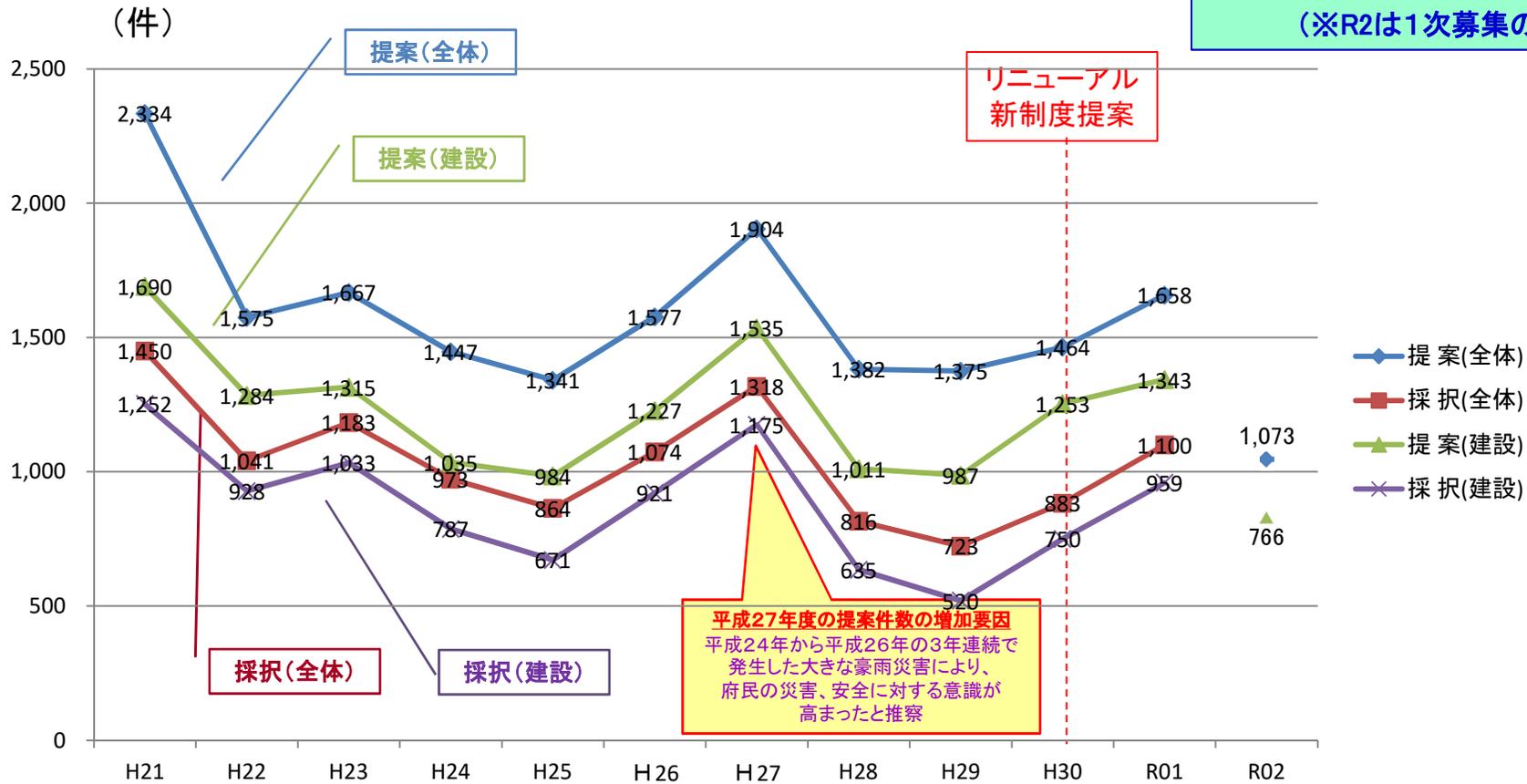
※3 インフラ長寿命化に係る提案のうち、補修基準に達していないものは経過観察とし、その後の損傷の進行に応じて採択を決定する。

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

## 採択の推移

リニューアルして  
提案件数は若干増加  
(※R2は1次募集のみ)

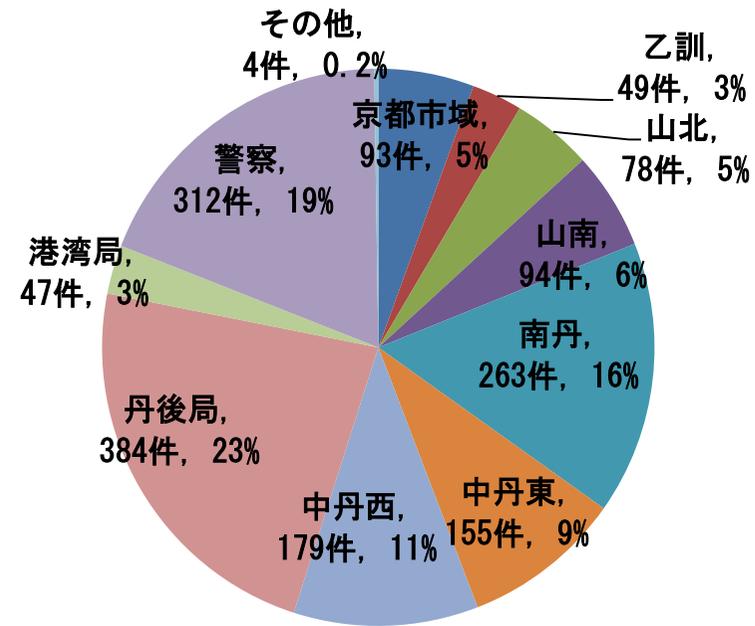


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	合計
提案(全体)	2,334	1,575	1,667	1,447	1,341	1,577	1,904	1,382	1,375	1,464	1,658	1,073	18,797
採択(全体)	1,450	1,041	1,183	973	864	1,074	1,318	816	723	883	1,100		11,425
提案(建設)	1,690	1,284	1,315	1,035	984	1,227	1,535	1,011	987	1,253	1,343	766	14,430
採択(建設)	1,252	928	1,033	787	671	921	1,175	635	520	750	959		9,631

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ② 令和元年度事業の概要について

(件)



インフラ長寿命化に係る提案が約3割

建設交通部では中北部地域の提案が約6割  
例年、同じ傾向

日常利用している府民の皆様からの“気づき”によって山間部の砂防施設や人家裏の急傾斜施設、転落防止柵の根元さびや横断管の損傷など、管理者が把握困難なものも提案されており、府民協働によるインフラ保全を着実に推進できている。

提案地区の偏りが目立つ

### 偏りの要因

中北部地域は、各土木事務所の管轄する面積が広く、道路や河川の管理延長が長いことが要因の一つと推察

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

### 施設別提案状況

安心・安全

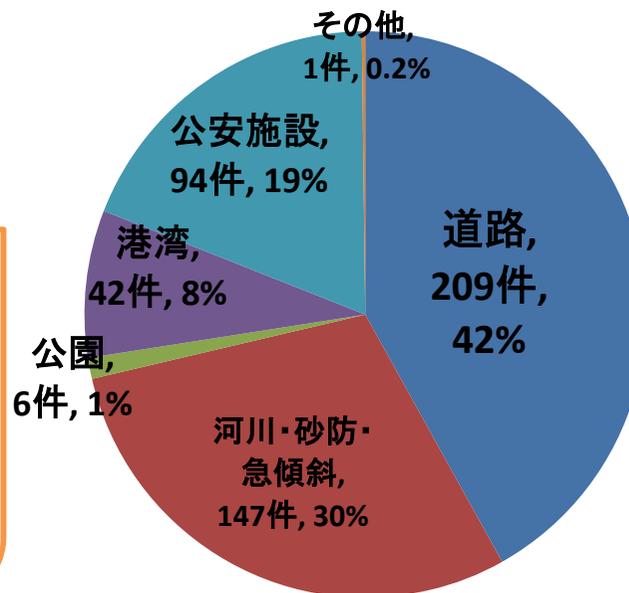
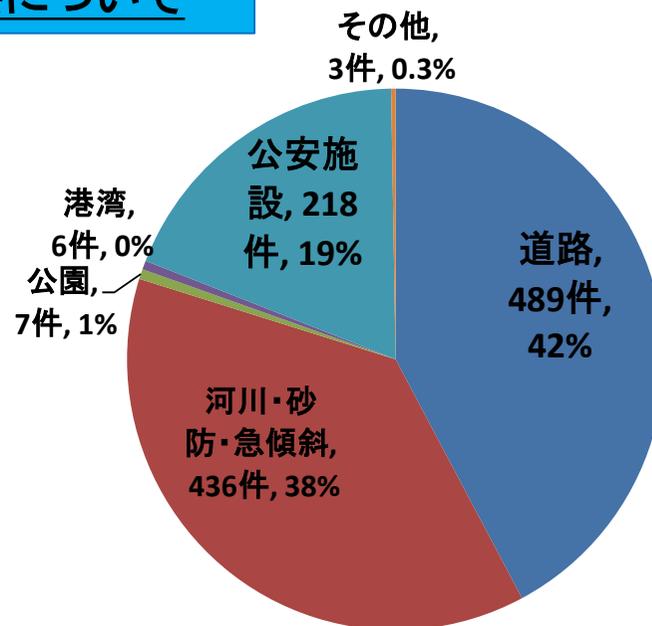
提案数1,159件

インフラ長寿命化

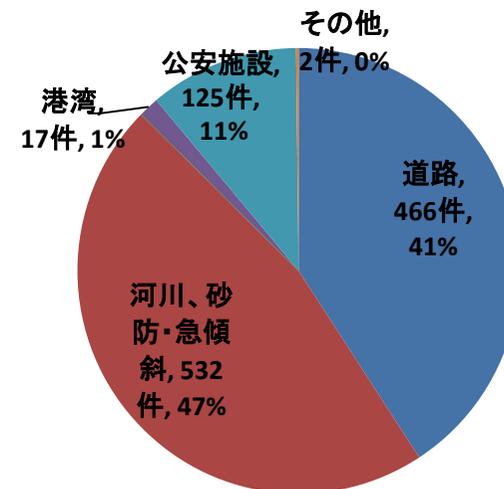
提案数499件

#### 【分析コメント】

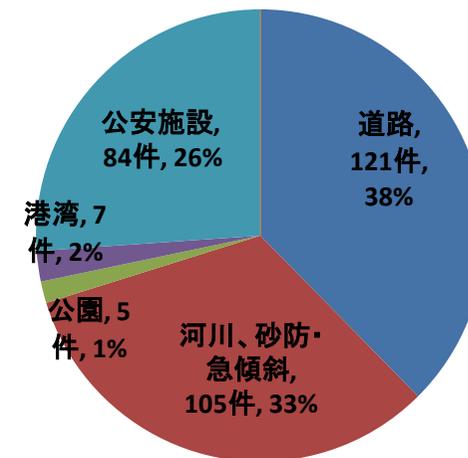
令和元年度と比較すると、平成30年度は河川・砂防・急傾斜の提案が多く、7月豪雨の影響があったことが推定される



### (参考)平成30年度



提案数1,142件



提案数322件

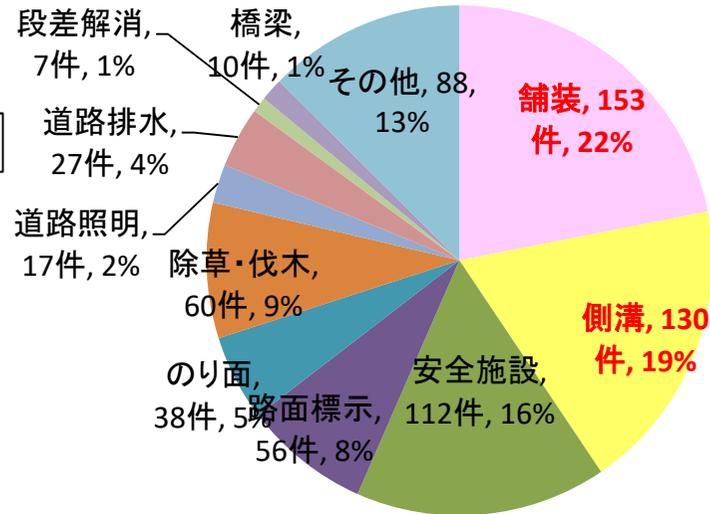
# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

### 施設別提案内訳

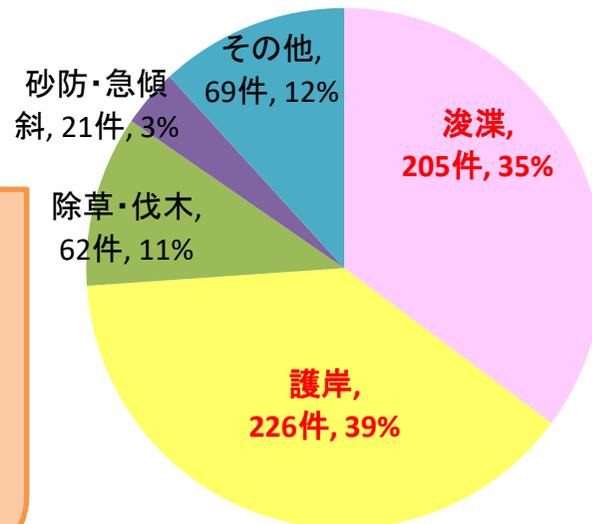
#### 道路

提案数698件



#### 河川

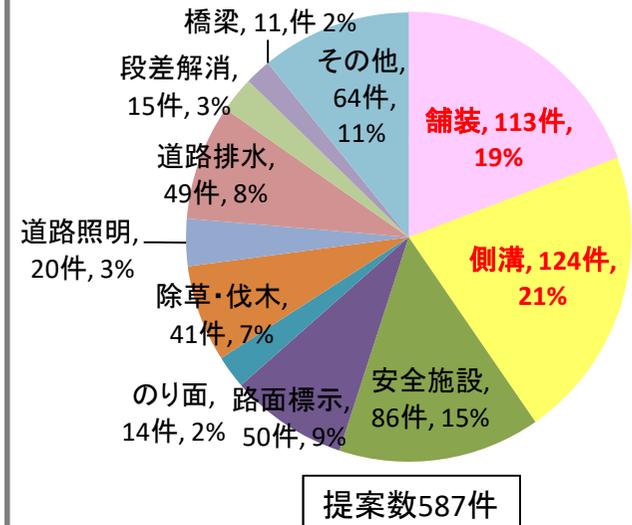
提案数583件



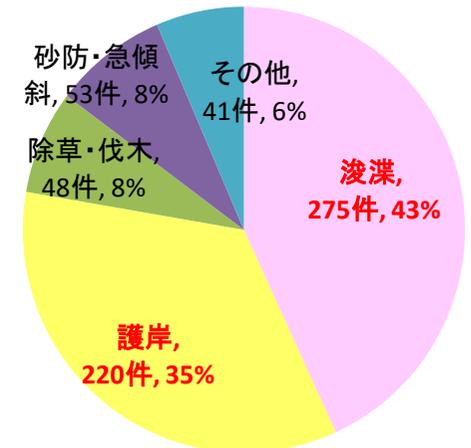
#### 【分析コメント】

令和元年度と比較すると、平成30年度は河川の浚渫要望の提案が多く、7月豪雨の影響があったことが推定される

### (参考)平成30年度



提案数587件



提案数637件

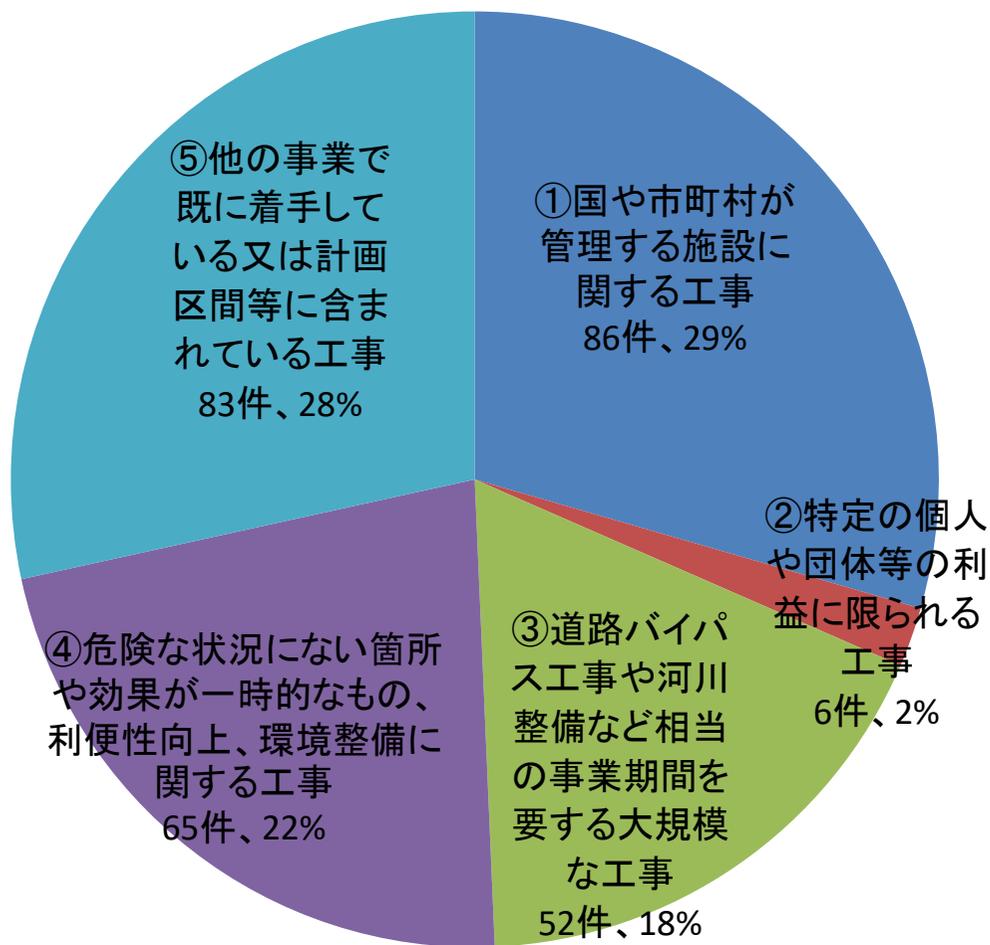
# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

## 不採択理由の検証(建設交通部)

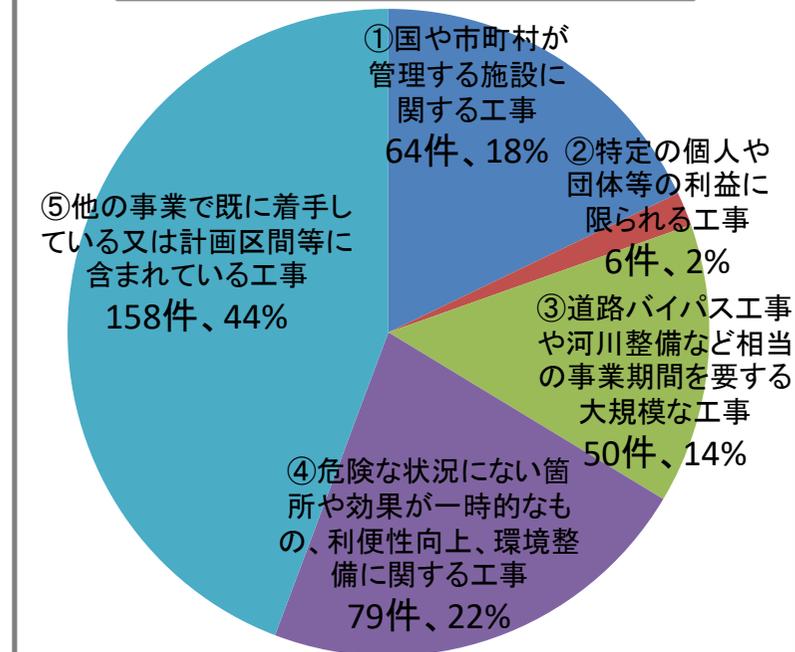
### 第1段階チェック

(件) 提案数1,343件 → 第2段階チェックへ1,050件



「①国や市町村が管理する施設に関する工事」や「⑤他の事業で既に着手している又は計画区間等に含まれている工事」に該当するため、本事業では不採択となる提案が不採択理由の約6割

### (参考)平成30年度



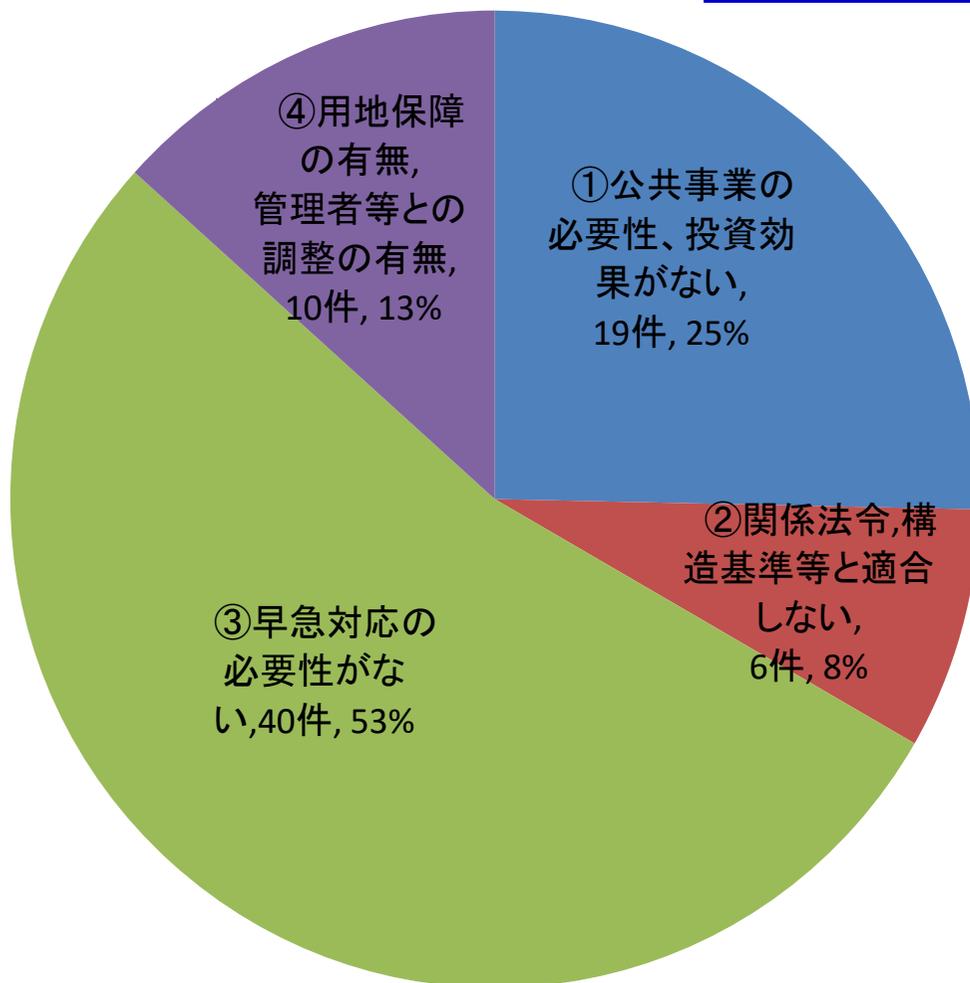
# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

## 不採択理由の検証(建設交通部)

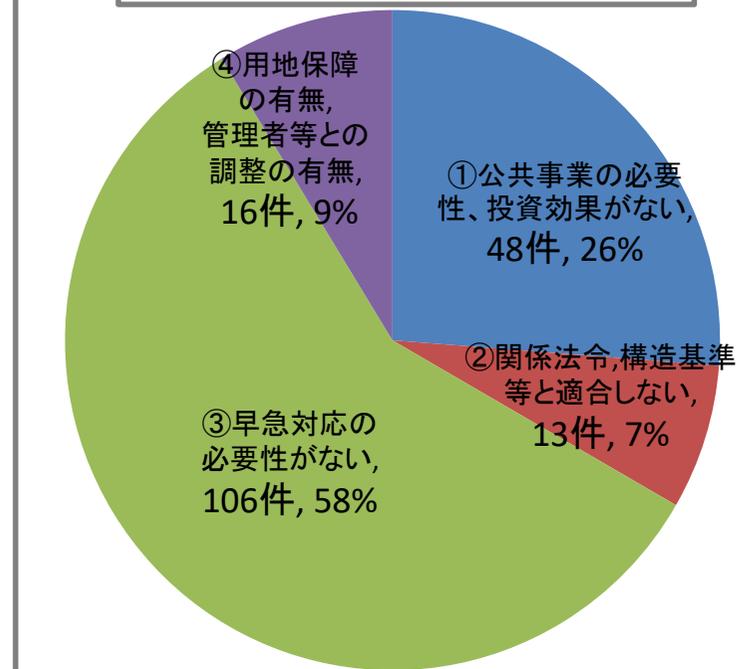
### 第2段階チェック

(件) 第2段階チェック1,050件→採択件数959件  
経過措置16件



「①公共事業の必要性、投資効果がない」  
「③早急対応の必要性がない」ため不採択となる提案が不採択理由の約8割

### (参考)平成30年度



複数項目にチェックの場合がある。

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ② 令和元年度事業の概要について

### 採択事例

青谷川(舞鶴市池内今田) 堆積土砂撤去

実施区分: 実施

安心・安全



舞鶴綾部福知山線(綾部市上杉) 転落防止策設置

実施区分: 実施

安心・安全



# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

### 採択事例

王子並河線(亀岡市篠町柏原)

舗装修繕

実施区分:実施

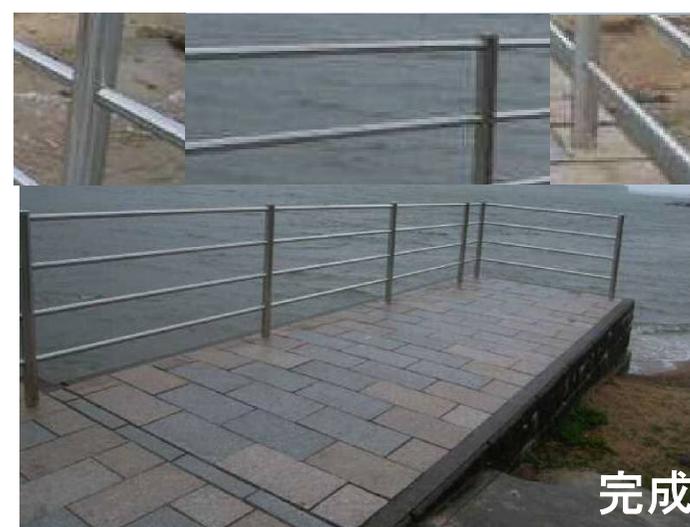


### インフラ長寿命化

久美浜港(京丹後市久美浜町)

防護柵修繕

実施区分:一部実施



### インフラ長寿命化

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ② 令和元年度事業の概要について

### 不採択事例

高野川（舞鶴市城屋） 護岸補修



安心・安全

若干の浸食はあるが、土羽護岸は健全で安定しており、危険な状態にない

第1段階チェックで、  
④危険な状況にない箇所や効果が一時的なもの、利便性向上、環境整備に関する工事に該当するため  
不採択とした提案

野中小天橋停車場線（京丹後市久美浜町）

路肩の確保・横断歩道の待機場所の確保



安心・安全

家屋への影響が懸念され、仮設費が大規模となり、R2上半期以内に完成ができない

第1段階チェックで、  
③大規模事業に該当するため  
不採択とした提案

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ② 令和元年度事業の概要について

### 経過観察事例

久美谷川(京丹後市久美浜町) 護岸修繕

### インフラ長寿命化



久美谷川(京丹後市久美浜町) 護岸修繕

- ・老朽化はしているが石積護岸に大きな変状は見られない
- ・周辺の土地利用は農地



第2段階チェックで、「③早急対応の必要性がない」ため経過観察とした提案

### インフラ長寿命化



# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

### 進捗状況(令和2年6月末時点)

(単位:件)

		提案件数	採択件数	準備中	設計中	入札手続中	工事中	完成	着手率
H30	1次	919	549	31	38	16	32	432	87.4%
	2次	334	201	15	26	6	8	146	79.6%
計		1,253	750	46	64	22	40	578	85.3%
R元	1次	789	528	124	62	12	39	291	64.8%
	2次	553	431	130	47	7	40	207	58.9%
計		1,342	959	254	109	19	79	498	62.1%

$$\text{着手率} = \frac{(\text{入札手続中} + \text{工事中} + \text{完成}) \text{の合計}}{\text{採択件数}}$$

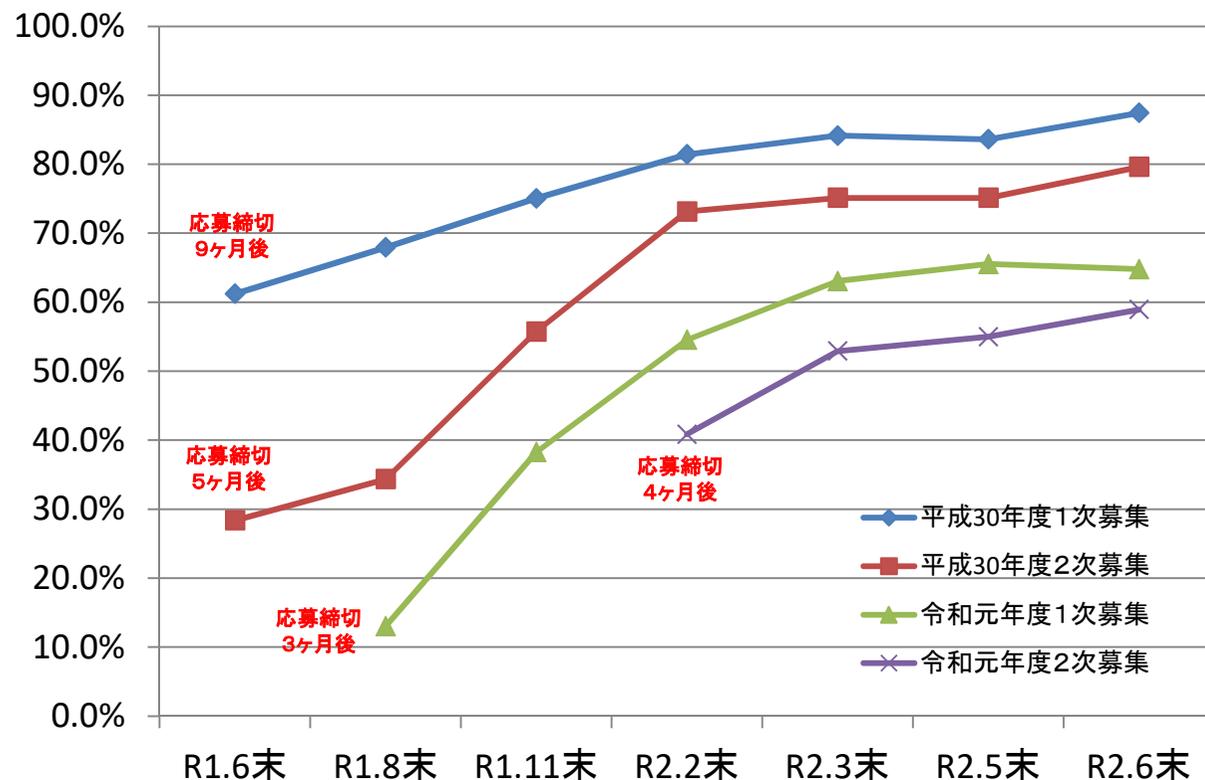
- ・平成30年度採択分は77%完成、85%着手済
- ・採択数が多い事務所で、未着手・未完成箇所が多い状況
  
- ・令和元年度分は52%完成、62%着手済

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

## ②令和元年度事業の概要について

### 進捗状況

#### 着手率の推移



- ◆ 平成30年度は7月豪雨災害等により、工事着手に進捗の遅れが生じていたが、昨年度は年度内の着手件数が倍増
- ◆ 緊急対応を要する提案は、個別審査し、速やかに工事実施

→工事着手のスピードアップを図っている。

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

## ③令和元年度アンケート調査について

- 提案者へのアンケートを実施

- ・令和元年度(1次募集+2次募集)

提案者 1,342名(1次:789名+2次:553名)

回答数 1,248件(1次:733名+2次:515名) 回収率 93%

- ・令和2年度(1次募集)

提案者 769名 回答数 730件 回収率 95%

I. 提案者の構成(年齢、職業、提案の経緯)

II. インターネットの利用有無

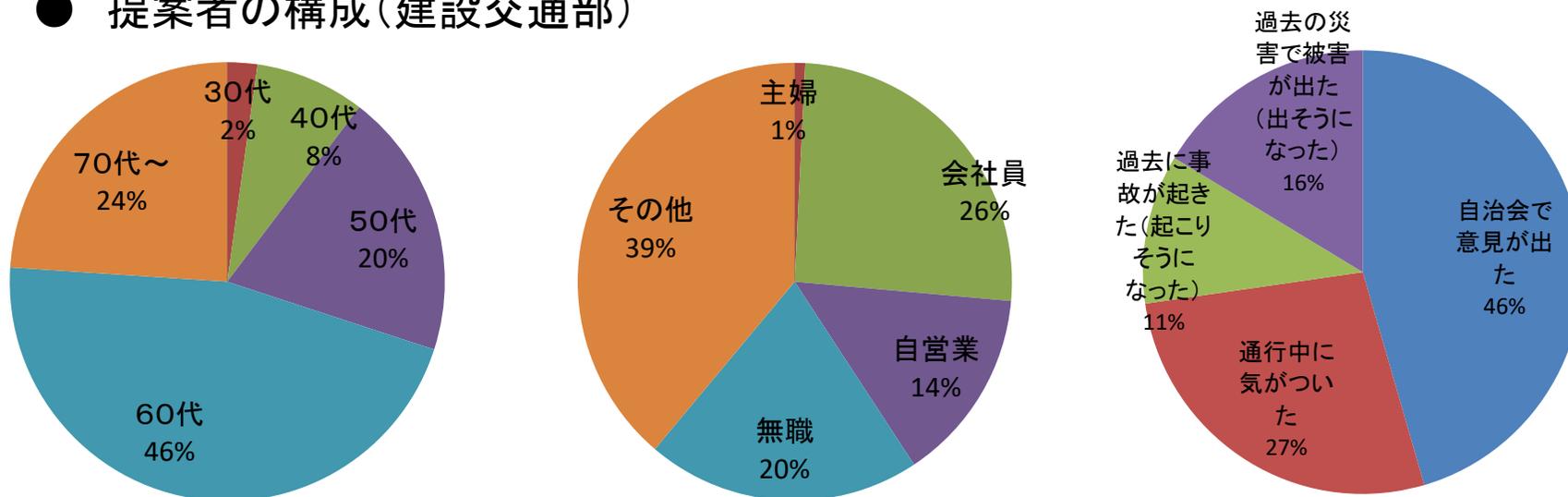
III. 審査結果通知について

IV. 意見(自由に記入してください)

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

## ③令和元年度アンケート調査について

### ● 提案者の構成(建設交通部)



(令和元年度+令和2年度1次募集の合計)

自治会・町内会が約5割、60~70代が約7割以上

### ● 提案方法(建設交通部)

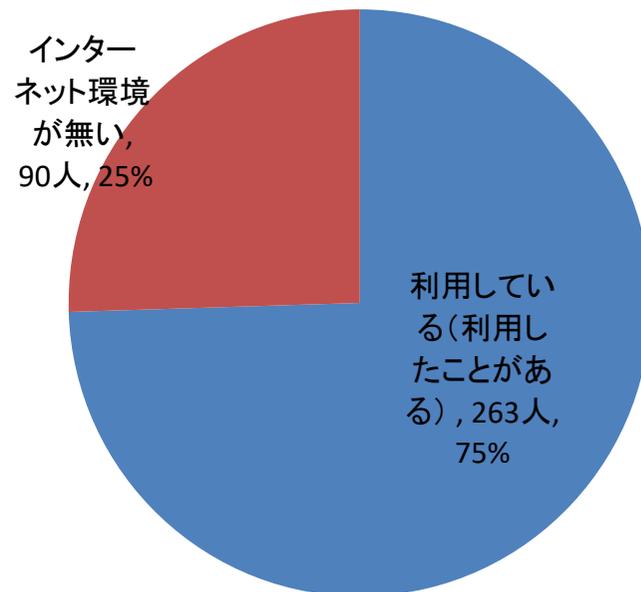
	令和元年度		令和2年度
	1次	2次	1次
①京都府ホームページの提案フォームから提案	54件	12件	59件
②来庁、郵送、FAXによる提案	735件	541件	710件

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

## ③令和元年度アンケート調査について

- インターネットの利用有無について  
(※令和元年度1次募集・令和2年度1次募集に項目なし)

### 令和元年度2次募集



2次募集では7割以上の方がインターネットを利用している

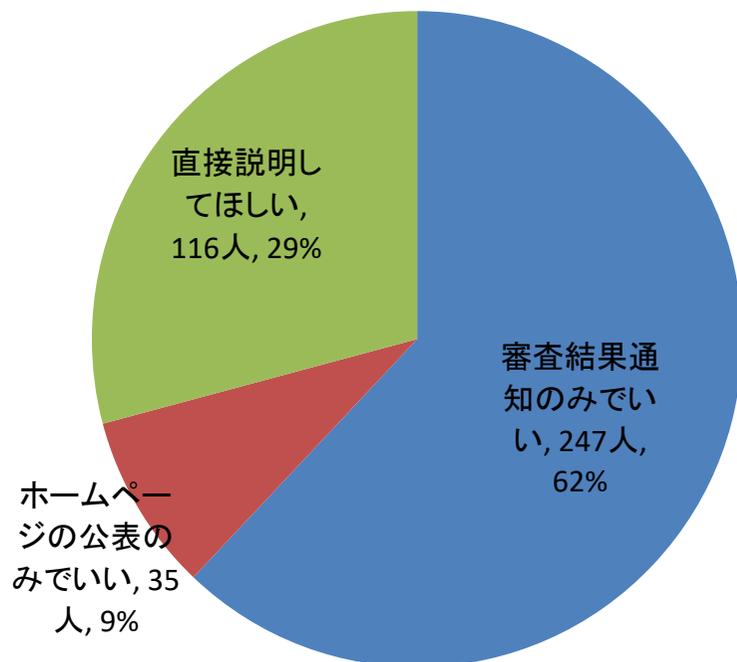
- 自由意見
  - ・ 今後は利用していきたいが、現在は勉強中
  - ・ 直接紙で出したい

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

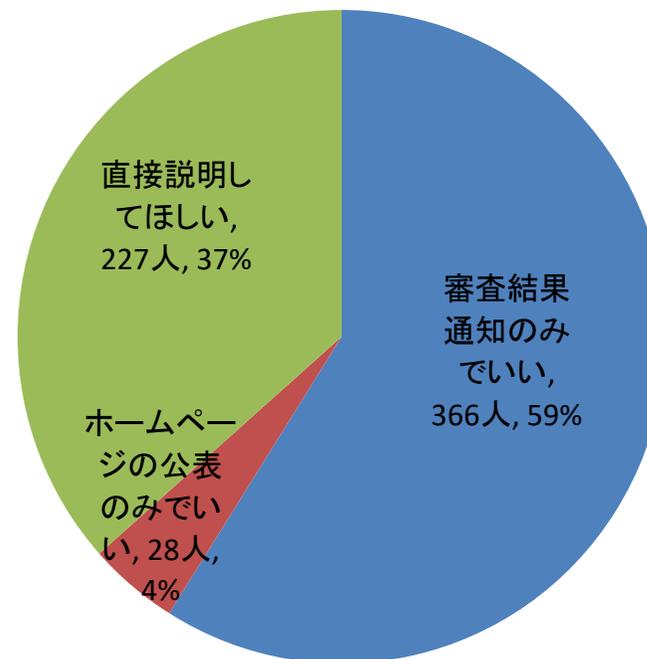
## ③令和元年度アンケート調査について

- 審査結果通知について(※令和元年度1次募集に項目なし)

令和元年度2次募集



令和2年度1次募集



結果通知のみで良いとの回答は6割以上ある一方、直接説明して欲しいとの回答も約3割を占めている。

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ③ 令和元年度アンケート調査について

### ● 自由意見

#### (継続意見)

・府民にとって、事業採択への近道と考えている。今後も継続をお願いしたい。

#### (WEB提案フォームについて)

・WEB提案フォームにおいて、作業中にタイムオーバーで、再度の記入を求められた。また、アドレスのコピーを受け付けないなど、使いづらいフォームである。

・フォームで直接写真を添付できるようにしてほしい。地図もGoogle map等を活用し、手続を簡略化してほしい。

#### (その他)

・以前相談した際に、樹木等の所有者(地権者)の了解又は同意を取って欲しいと言われたが、地元の人ではないので、非常に困難である。

・前回提案の伐木実施の時に事前に提案者との現場立ち会いもお知らせもなくいきなり施工された。今後は提案者との立ち会いのもと現場を確認後、着工されるようお願いしたい。

# (1)府民協働型インフラ保全事業について

## ③令和元年度アンケート調査について

- 自由意見

### (その他)

- ・採択不採択の理由を説明して欲しい。不採択の場合、どうすれば改善できるかアドバイスをしてほしい。採択された場合、事業の実施時期・スケジュール、事業規模など連絡が欲しい。

- ・採択された場合はいいが、不採択の場合は直接説明してほしい。

- ・地元区の区長として提案している箇所については、区民からの問い合わせに対応するために、過去に採択いただいた箇所も含め、大まかな工事予定を教えてください。

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ④ 京都府議会質疑状況(6月議会)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自治会などの場で十分な説明ができていないことから、春(1次募集)は提案件数が少ないと考えるが、比較してどのような状況か。また、秋(2次募集)に向けて募集件数の増加を図るべきか。  
⇒答弁)昨年度1次募集と比較すると提案件数は約3%減。秋の2次募集は募集開始を1月前倒しし、8月から10月の3ヶ月間の募集期間とするとともに、事前の広報も早期に行いたい。  
**(6月30日:募集期間を事前に記者発表、7月20日:応募要領等詳細を記者発表)**
- 在宅勤務の影響で、事業の進捗が遅れることを危惧するが、状況はどうか。  
⇒答弁)7月末の採否通知に向けまして作業を進めており、緊急性の高い箇所から速やかに工事着手していきたい。  
**(7月31日:令和2年度1次募集採否通知の送付及びホームページ公表を実施済)**
- 不採択提案については、しっかり丁寧に理由を伝えること、採択提案については早く完成すること。本事業に応募したが、不採択となれば不満だけが残るので、丁寧な対応をお願いしたい。  
⇒答弁)不採択提案について、丁寧に説明していきたい。

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ⑤ 制度改善について

### ● 不採択の結果通知について

- ・不採択通知の文例が冷たい
- ・結果通知については丁寧に対応すべき
- ・文章で正確に伝えるのは難しいのでは

- ・不採択の文例は事務局で作成
- ・不採択案件について、直接説明希望者(アンケートで把握)には電話説明を試行的に実施することとした。  
(令和2年度1次募集は京都土木・山北土木・山南土木・港湾局にて電話説明)

(文例)(※案件に合わせて具体的な説明となるよう下記をアレンジ)

事例①: (国や市町村等の)管理する施設に関する工事のため本事業の対象外となる場合  
例文)防犯灯の設置については、市町村が管理する施設に関する工事のため本事業の対象外となります。施設管理者である〇〇(連絡先)に情報提供していますので、お手数お掛けしますが、〇〇に御相談をお願いします。

事例②: (利便性の向上や環境整備に係る)工事であり、身近な安心・安全や長寿命化につながる工事に該当しないと判断される場合

例文)道路除草については、通行に支障となる範囲で最も効果的な時期をねらって実施しています。御提案の内容は、環境整備に係る御提案のため、実施できませんが、通行に支障とならないよう、道路パトロールの中で適切に管理してまいります。

なお、詳細な理由の説明をご希望される方は恐れ入りますが、下記に御連絡をお願いします。

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ⑤ 制度改善について

- 進捗状況について

工事の進捗状況について、情報を求められている。

ホームページで公表していることを採択通知に記載して周知

(文例)

なお、採択された提案につきましては、ホームページにて進捗状況を公表しております。

(ホームページ掲載場所: 京都府ホームページ > 府政情報 > 府民参画・意見 > 府民協働型インフラ保全事業)

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ⑤ 事業改善について

## 提案書の変更

### 京都府管理施設に対する府民の皆様からの提案書

R2-1

～ 皆様にとって身近な安心・安全やインフラ長寿命化のために  
必要な工事についてお寄せください。～

<b>&lt;御記入の際のお願い&gt;</b>			
1 本様式で「安心・安全整備」、「インフラ長寿命化対策」のどちらの提案も可能です。(様式共通) 記入にあたっては、まず応募要領をご覧ください。			
2 同一場所(区間)であれば、1枚の提案書で複数内容の提案が可能です。(場所(区間)が異なる場合は、提案書を分けて下さい)			
3 提案場所の特定のため、地図や写真をつけてください。(別紙可)			
4 道路や河川・港湾、交通安全施設などについては、応募要領の「5 道路や河川・港湾、交通安全施設などの採択について」を確認のうえご提案ください。			
施設区分	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 河川・港湾 <input type="checkbox"/> 交通安全施設(警察管理) <input type="checkbox"/> その他		
提案の場所	所在地	市 町 村 <small>(市町村名は必ず記入してください)</small>	
	施設名	範囲	<small>(府道〇〇号や〇〇川、交差点名など)</small> <small>(どこからどこまでなど区間や範囲を記入してください)</small>
提案内容	① 提案の場所はどのような状態とお考えですか。(お困りの状況や危険な様子、インフラの変化や劣化に関する皆様の気づきを記入してください)(応募要領に写真を掲載していますので、参考としてください。) <small>(例1: 交通量が多く、子どもたちの通行に危険を感じている。)</small> <small>(例2: 歩道の段差が大きく、車椅子や高齢者等にとって危険である。)</small>		
	② どのような改善をすれば良いとお考えですか。(具体的な提案をお願いします) <small>(例1: 〇〇交差点から東へ10メートルほどの区間の道路の側溝に蓋掛けをし、歩行空間を確保してほしい。)</small> <small>(例2: 〇〇交差点の横断歩道と接続する歩道の段差を縮小して、誰もが安心して出かけられるにしてほしい。)</small>		

### ① 提案区分について

「安心・安全整備」と「インフラ長寿命化対策」の提案区分を設けていたが、区分が分からないとの提案者からの意見を踏まえ、令和2年度から、提案区分を廃止し、様式を統一した。  
※提案区分は受付側で決めることとした。

### ② 同一区間に複数の提案がある場合の提案について

提案が複数ある場合、提案書を分けていただくこととしていたが、令和2年度から、同一区間であれば提案が複数ある場合でも1枚の提案書で複数内容の提案可能とし、提案者の負担軽減を図った。

### ③ 提案様式の記載方法について

「インフラ長寿命化対策」の提案はマーク式としてたが、様式の統一に伴い、記述式とした。提案者の負担は増加するが、提案内容の確認作業が軽減

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## ⑤ 制度改善について

- 不採択提案を少なくするための方策として、制度の説明を充実させること
  - ✓ 応募要領に不採択事例写真を追加(令和2年度2次募集から)
  - ✓ 各土木事務所で配布する募集ちらしに審査基準を追加(令和3年度1次募集から)
  - ✓ 府で実施する「出前語らい・専門職員派遣」のテーマに本事業を追加し、希望者に府職員が直接出向いて説明(PR)や意見交換を実施(令和3年度1次募集から)
- 提案フォームについて、「作業中タイムオーバーになる」とかいった意見があり、改善ができるか確認が必要
  - ➡ 時間制限はシステム上修正できないため、時間切れになる可能性がある場合は一時保存いただくよう応募要領に記載
  - ※その他提案フォームに使いにくいところがないか2次募集でアンケート調査する

# (1) 府民協働型インフラ保全事業について

## 検証の課題

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の状況下における対応について  
～人と接する機会をなるべく減らすためには、どのような方法があるか～

### 現時点の対応状況

- 令和2年度1次募集では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、自治会活動が制限されたといった声も聞いており、2次募集では、例年の募集開始時期を1月前倒しして、募集期間を8月～10月までの3ヶ月に拡大するとともに事前広報を早期に実施
- 京都府ホームページの府民協働募集ページにて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、なるべく郵送での書類提出をお願いしている

- その他